

外国語科学習指導案

6年1組 19名

指導者 JTE 中谷 真由美

ALT Luis Mojica

1 単元名 Unit 4 Let's see the world.

2 単元について

- ・本単元は、学習指導要領第5学年及び第6学年「話すこと[やり取り]ウ」を重点的に取り上げる。世界の国々の魅力について調べ、自分のおすすめの国とそこでできることについて、基本的な表現を用いて考えや気持ち等を伝えることをねらいとする。
- ・児童はこれまでに、自分の一日の生活や週末にしたことについてやり取りをしてきた。この単元では、友達やALTに「その国に行ってみたいな」と興味をもってもらうために、自分が見つけた世界の国々の魅力等、相手におすすめしたいことを伝え合うことができるようにしたい。
- ・本単元の終末では、タブレット端末を用い、自分が選んだ国について伝えたい内容をまとめる。その後、デジタル教科書等で自分に必要な表現を練習する。伝える内容を自己選択したり、自分のペースに合わせて個別に学習する時間を設けたりすることで、主体的に学習に取り組み、自信をもっておすすめの国について伝えられるようにしたい。

3 全体計画 (全8時間)

- ・第1次 世界の観光名所とその国でできることについてのやり取りのおおよその内容を理解する。
・・・2時間
- ・第2次 基本的な表現を用いて、おすすめの本国やおすすめの理由について伝える練習をしたり、タブレット端末を用いてスライドを作成し、おすすめの本国について伝えたりする。
・・・3時間 (本時3/3)
- ・第3次 タブレット端末を用いてALTや友達におすすめの本国について内容を工夫して伝え合う。
・・・3時間

4 本時の学習 (5/8時)

- (1) 目 標 おすすめの国とその国でできることについて、考えや気持ち等を基本的な表現を用いて伝え合うことができる。(知識及び技能)

(2) 展 開

学 習 活 動 (配時) ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◆評価〈方法〉 ※「努力を要する」状況と判断する児童への手立て
1 ジングル、チャンツ等のウォーミングアップ活動をする。 全体 (5) 2 本時の課題を確認する。 全体 (5) A: Where do you want to go? B: I want to go to America. You can see the Statue of Liberty. You can enjoy watching baseball games. You can eat a big hamburger. It's delicious.	・基本表現を想起し、英語の発話意欲を高めるために、ジングルや歌等をリズムよく行っている子供を称賛する。(ALT・JTE) ・ゴールを意識して本時の活動に取り組むために、ALTとのやり取りを提示し、表現等を確認する。(ALT・JTE) ・see、eat、buy等の単語を使い分ける手助けとなるように、板書に文例をピクチャーカードで示す。(JTE)
行きたい国やそこでできることについて伝え合おう	
3 行きたい国やそこでできることについて伝え合うために、英語表現や行きたい国について学び合う。学習者用デジタル教科書を用いて、自分のおすすめの国について確認したり、単語や表現の練習をしたりする。Sky Menu 発表ノートに自分の行きたい国や伝えたい内容についてまとめる。 個人・ペア・グループ (20) I want to go to Italy. You can eat pizza.	・単語や表現を練習したり、伝える内容をまとめたりする活動に集中できるように、前時にデジタル教科書「デジタルマップ」を用いている国について調べる時間をとる。(JTE) ・<u>自分で学び方を選んで学習を進められるよう、タブレット端末に紹介文を作成できるテンプレート以外にも単語や表現を自由に練習できる音声も入れておく。</u>(JTE) ・<u>伝えたい内容について、進んでやり取りすることを紹介し、近くの友達と伝え合う活動も取り入れなが</u>

You can see the Colosseum. It's great. 4 ペアで自分のおすすめの国について伝え合う。 ペア (10) A: Where do you want to go? B: I want to go to India. You can see the Taj Mahal. You can buy spices. You can eat curry. 5 ふり返りをする。 個人 (5) - 教科書で調べたことを ALT や友達に伝えることができた。 - もっとたくさんのことを調べて ALT や友達に伝えたい。 - 感情や様子等の表現も用いて、感想も伝えたい。	<u>ら作成することも確認する。(JTE)</u> - 児童が主体的に学習を進めることができるように、Sky Menu 発表ノートにデジタル教科書「デジタルマップ」「動作」ページへのリンクを貼り、簡単にデジタル教科書を開くことができるようにしておく。(JTE) ※Sky Menu 発表ノートで、基本的な表現のテンプレートや文例を配付する。また、表現カードを色分けして色を参考にして文を作成することができるようにする。(JTE) - 適切な表現を用いてやり取りできるように、児童同士のやり取りを聞き、適切な表現についてアドバイスする。(ALT・JTE) - 第3次にさらに内容を工夫して友達に伝えようという意欲を高めるために、感情、様子等の表現を取り入れている児童等を紹介する。(JTE)
◆知識・技能 おすすめの数とそこでできることについて、考えや気持ち等を基本的な表現を用いて伝え合う技能を身に付けている。＜行動観察・発表ノート＞	

・視点②「自分に合った学び方を選択できる学習過程や学習環境の工夫」の手立て

＜スカイメニュー 発表ノート 活用例＞

	・紹介文のテンプレート (左側のスライドから基本的な表現を選び、表現カードをコピーして貼り付けることで、紹介文を作ることができます。動作を表す表現カードの背景には水色にするなど、色分けをすることで、簡単に紹介文を作ることができます。)
 表現カードをクリック＆ドロップすることで、表現カードがコピーされます。カードを動かして文を作ります。	 ※表現カードをコピーしてオリジナルの紹介文を作ります。

発表ノートのイラストにデジタル教科書へのリンクを貼りました。発表ノートからデジタル教科書へアクセスできます。タブレット端末の操作が苦手な子どもでも、簡単にデジタル教科書の必要なページを開くことができます。

